



町民1人当たり
に換算すると…

町民1人当たりの町税

8万1,747円

町民1人当たりにお金

53万1,105円

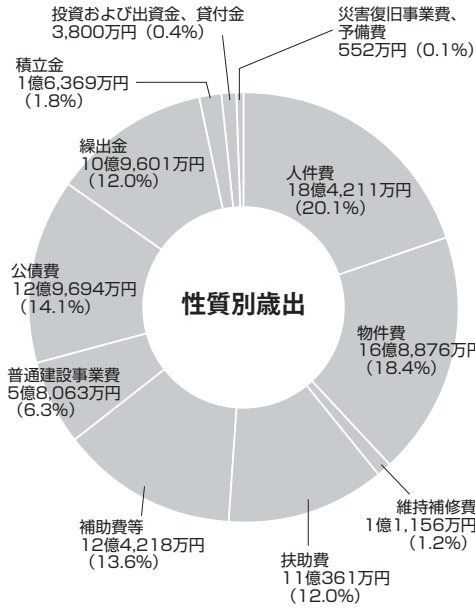
町民1人あたりの借金残高(28年度末見込)

81万813円

ただし、交付税措置により実質的に

22万1,562円

※上記金額は、平成28年2月末現在の人口(17,264人)を用いて、一般会計ベースで試算したものです。



【特別会計】

特別会計とは、一般の歳入歳出と区分して経理される、特定の事業のために設けられた会計です。平成28年度の各特別会計予算の合計は101億7,326万円となりました。また、一般会計予算と各特別会計予算を合計すると193億4,226万円となりました。

会計名	予算額	概要
後期高齢者医療特別会計	5億2,120万円	高齢者への医療費給付事業のための会計
国民健康保険事業特別会計	35億6,373万円	国民健康保険に係る医療費給付のための会計
介護保険事業特別会計	24億9,242万円	介護サービス給付のための会計
病院事業会計	27億1,872万円	くしもと町立病院の会計
水道事業特別会計	6億4,262万円	飲料水供給のための会計
国民宿舎事業会計	1,234万円	国民宿舎「あらぶね」の会計
下水道事業特別会計	3,670万円	サンゴ台地区の下水道事業の会計
住宅資金貸付事業特別会計	2,079万円	住宅の新築、改修および宅地取得資金貸付事業に係る会計
各財産区特別会計	1億6,445万円	串本・潮岬・出雲・田並・和深・古座・西向・田原財産区の合計
東牟婁郡公平委員会特別会計	30万円	東牟婁郡で共同設置する、公務員の不服申立てなどを審査する公平委員会の会計
合計	101億7,326万円	

平成28年度一般会計当初予算



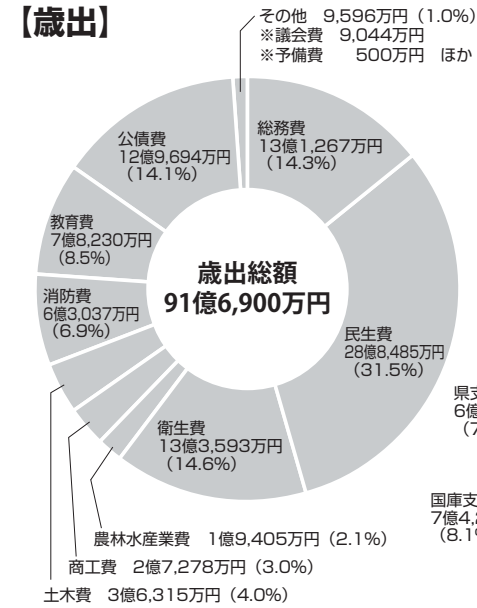
魅力ある、地域づくり、人づくり、仕事づくりを進め、希望の持てるまちづくりを目指して

先の第1回定例会において串本町の平成28年度一般会計当初予算が決まりました。

今回の当初予算額は91億6,900万円で、平成27年度の当初予算と比較して9億2,500万円(9.2%)

の減となりました。今月号では、当初予算の概要についてご紹介いたします。(金額は項目ごとに1万円未満を四捨五入しており、合計額と予算総額は一致しません。)

【歳出】



用語解説

総務費… 一般的な管理事務、徴税、選挙、財務事務などに使われる経費

民生費… 福祉サービス、医療費、保育所の運営など町民の生活と社会生活の保障に使われる経費

衛生費… 予防接種や健康診断などの保健関係、ごみ処理などの衛生関係に使われる経費

農林水産業費… 農業、林業、漁業の振興に使われる経費

土工費… 商業や工業の振興、観光事業等に使われる経費

土木費… 道路や公園、住宅などの整備に使われる経費

消防費… 消防・救急のために使われる経費

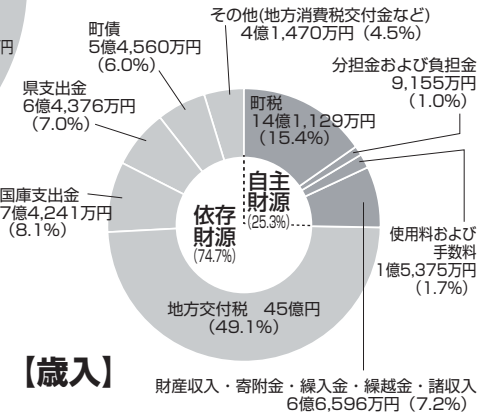
教育費… 小・中学校の運営や体育施設、図書館の管理、生涯学習などの教育関係に使われる経費

公債費… 町の債務(借金)の返済に使われる経費

用語解説

自主財源… 町が自主的に徴収できる財源のこと

依存財源… 国や県から交付された、借金によってまかなったりする財源のこと



28年度予算の特徴

映画「海難1890」の公開、日ト友好125周年記念式典、紀の国わかやま団体の開催、近畿自動車道勢線の南進などにより、昨年から串本町の注目度が飛躍的に伸びている中、本年度は、このことを今後の活力に活かせるよう、より更なる魅力あるまちづくり、希望の持てる串本町を創り出すことを目指して予算編成を行いました。

歳入面では、納税義務者の減により個人町民税は減少しているものの、固定資産税において、償却資産税額が増加していることから、町税全体では増額の見込みとなっています。普通交付税については、合併算定措置の縮減などの減少要因があるものの、公債費などの増加等が見込まれることから、前年度と同額を計上しています。

歳出面では、田並ごみ焼却場跡地整備事業等の終了により普通建設事業費が大幅に減少した一方で、扶助費や公債費は引き続き増加しています。また、新しい学校給食センターの運営に係る経費や錦富児童保育所の開設等により物件費が増加した結果、貯金である財政調整基金を2億8,800万円取り崩しています。

また、町内外の皆さまからご寄付いただいたふたふたのまちづくり応援寄付金を、国際交流、医療、防災対策等に資する事業に活用させていただいております。